



あっつあつ  
食べなあよ

## 漁師町加太は 海も空も 気持ちいい！

加太沖には友ヶ島や淡路島そして四国が迫る海峡で、潮の流れが早く魚の身もギュッとしまっている。漁師さんだけでなく、鯛を釣るための釣り船も多い。



## 加太へ来たら あげパンは 食べんとあかん

地元の小学生から観光客まで大人気のあげパン。ほぼ毎朝9時から仕込み始め11時頃から揚げ始める。先代のおじいちゃんから90年。中に入っているこしあんもパン生地も全て手作り。加太に来たら是非食べたい懐かしい揚げあんパンだ。



## 淡嶋街道も 昔はえらい 人やったんよ



淡嶋さん  
行くんかえ？



こっちは  
あん入

淡嶋街道沿いで100年以上続く和菓子店。人気のヨモギ餅に使うヨモギは店主自ら加太の山で摘んでくるとか。今年代物の餅つき機で作っている。あん入・あんなし共に100円

**先田本家**  
住所 / 和歌山市加太500  
電話 / 073-459-0008

**キシモト**  
住所 / 和歌山市加太1341  
電話 / 073-459-0045

あげパン1個80円

Cool! Deep! KADA!



加太は和歌山県の北西端、大阪府岬町にほど近い漁師町。また古くから淡路島・四国への連絡港として栄え、淡嶋街道沿いでは今も大きな旧家や蔵などを見ることができる。



## Cool! Deep! Wakayama クール! ディープ! ワカヤマ

開業から100年。和歌山の成長を見つめてきたローカル線に乗って和歌山・加太を紹介。



焼き立て  
たべなあよ!

## 醤油とさざえの 焼けてる香り。 たまりません。

淡嶋神社境内、参道に数軒あるお土産屋さんでは一番古い魚市商店。店先で焼いているさざえやおく貝の香ばしい香りについつらわれて店内へ。他にもしらすやわかめうどんなど漁師町の味を満喫できる。

**魚市商店**  
住所 / 淡嶋神社境内  
電話 / 073-459-0161

さざえのつば焼き、おく貝それぞれ2つ皿で500円。



お土産屋さんにも並ぶ美味しそうな珍味探しても楽しい。

## 女性の病気回復に 霊験あらたか。 もちろん恋の病も?

ひな祭り発祥の神社といわれています



市松人形が  
すら〜り。

3月3日の雛流し神事で有名な淡嶋神社の歴史は古く、仁徳天皇の頃の創建といわれる。境内には供養のために全国からたくさんの人形が奉納されている。“女性のための神様”として信仰を集め、女性の病気回復や安産・子授けなどはもとより縁結びや恋愛の成就にも霊験あらたかといわれている。



**淡嶋神社**  
住所 / 和歌山市加太  
電話 / 073-459-0043

和歌山市駅を出て終着駅の加太駅まで、川を越え海を眺めながら約30分の旅。



地元住民から観光客の方々まで親しまれてきた南海加太線。各駅停車の短い旅のその先は、明るい空と海の町。

## 【南海電鉄加太線 加太】

南海電鉄加太線は明治45年、加太と和歌山（紀ノ川西岸）を結ぶ加太軽便鉄道として開業した。その後100年間、地元の人たちの通勤・通学や、また加太や磯ノ浦への海水浴客を運ぶ行楽路線として親しまれてきた。和歌山市駅を出て約30分の各駅停車の旅の終着点、加太駅舎はクラシックでキーンと。今も開業当時のおもかげを色濃く残している。

加太淡嶋神社までは、のんびりゆくり淡嶋街道を歩く。磯の香りが漂う街道沿いには、往年の盛況を偲ぶように旧家や蔵、昔ながらのパン屋さんやお餅屋さんなどが並んでいる。町並みを抜けると青い空と海が開け、漁港に着く。淡嶋神社は目の前だ。



100年前の開業時から駅舎の屋根に乗っていた「とんがり」。